

2024年10月25日

## 「女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査（2024年）」について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）の子会社である常陽産業研究所（代表取締役社長 大森 範久）は、このたび、「女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査（2024年）」を実施しましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

当社は、地域のシンクタンクとして各種調査研究および総合金融サービスの提供を通じ、今後とも、地域の課題解決のためのさまざまな情報発信および取り組みを展開し、地域の成長と活性化に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 調査結果

当社では、「茨城県内主要企業の経営動向調査（2024年7～9月期）」の特別調査として、「女性活躍」および「ダイバーシティ（多様性）・エクイティ（公平性）&インクルージョン（包摂）」（以下、ダイバーシティ）の取り組み状況などに関する調査を実施しました。なお、当社の定例調査として、女性活躍は5回目、ダイバーシティは3回目の実施となります。

県内企業における女性活躍の取り組み率は50.5%と、3年ぶりに前年水準を上回りました。また、女性活躍を除くダイバーシティの取り組み率は29.7%と、前年（15.0%）から倍増しています。女性活躍やダイバーシティの取り組み効果としては、「生産性向上・業務効率化」（55.4%）、「ES（社員満足）の向上」（37.8%）、「採用競争力の向上」（29.7%）などが挙げられました。

人手不足が常態化・深刻化する中、人材確保の観点からも、女性活躍やダイバーシティの取り組み意義は増していると考えられます。当社は地域のシンクタンクとして、大企業だけでなく、中小・零細の企業においても、取り組みを開始ないし拡大する動きが広まることを期待いたします。

なお、調査結果の詳細は別紙を参照してください。

#### 2. 調査の特徴

本調査は、2024年9月に茨城県内企業192社（製造業86社、非製造業106社）からの回答を取りまとめたものです。従業員300人以上の大企業から、30人未満の企業まで幅広く調査対象としています。

以上

本件に対するご照会は、下記までお願いいたします  
常陽産業研究所 地域研究センター（茂木・荒澤） 029-233-6735